

芦屋市文化振興基本計画策定に向けた地域特性を各種計画や統計資料等から整理（イメージ）

平成 26 年度文化振興審議会意見書		各種既存アンケート結果	ヒアリング結果	国や県、広域の動向、市の特性	
まちづくり	<p>◎文化施策の推進には、市民に対し公平かつ平等に文化を享受できる機会を提供する市民文化政策と、芦屋市の都市としての発展を描く上での都市文化政策の視点を取り入れながら、事業に取り組んでいく必要がある。</p> <p>『国際文化住宅都市としての総合的な文化戦略の構築と推進』や文化事業を実施するにあたっての個人・企業等の『参画と協働』といった視点を加え、またその取組を行っていくこと</p> <p>○市の立地として阪神間に位置しており、近隣市への交通アクセスの良さなどから市民は必ずしも市内だけで文化を享受しているわけではなく、他市の施設や県の施設等も利用していることを前提とすること</p>	<p>(教育振興に関するアンケート)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の大人に望むこととして「地域の行事に参加させてほしい」こと 地域の教育力を高めるために市民が必要だと思う取り組みで「伝統芸能や文化を子どもたちに伝えていく」こと 現在「子どもにスポーツ活動・文化活動の指導をしている」こと <p>(障害施策に関するアンケート)</p> <ul style="list-style-type: none"> 障がい施策で期待・重要視するもので、「参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動を増やす」は 13.5%となっている <p>(子育て施策に関するアンケート)</p> <ul style="list-style-type: none"> 芦屋市の子育て支援施策に期待すること・重要なことは、「地域における子どもの居場所の充実」が 39.2%と最も高い 	<ul style="list-style-type: none"> 芦屋市は、自然と住宅など街並みの調和がとれた、生活に便利なまち。 住民のモラルが高く、心ここちよい、京都や神戸とは違ったよいまち 川・山・海など自然豊かで空気がよい 芦屋市には、京都や三木市、高槻のような伝統的なまつりがない 芦屋では打ち水のような、地元の慣習がない 子どもが多く教育熱心な芦屋市 	<p>国や県、広域の動向や社会的背景（機会）</p> <ul style="list-style-type: none"> 地方創生：文化芸術、町並み等を地域資源として戦略的に活用し、地方創生の起爆剤に！ 2020 年東京大会：全国津々浦々で、あらゆる主体が『文化プログラム』を展開、多くの人々が参画 → 2016 年リオ大会後、オリンピック・ムーブメントを国際的に高める取組を実施し、機運の醸成 東日本大震災からの復興：文化芸術の魅力で、国内や世界のモデルとなる『新しい東北』の創造 文化芸術への公的支援を、戦略的投資と位置づけ、文化芸術振興への支援を重点化 『国際文化住宅都市としての総合的な文化戦略の構築と推進』や文化事業を実施するにあたっての個人・企業等の『参画と協働』といった視点を加え、またその取組を行っていく 	<p>社会的な問題（脅威）</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少社会の到来 過疎化や少子高齢化等の影響 単身世帯の増加等の影響 地域コミュニティの衰退と文化芸術の担い手不足が指摘 昨今の経済情勢や、厳しさを増す地方の財政状況などからも、地域の文化芸術を支える基盤の脆弱化に対する危機感が広がっている
	<p>○市内には、潜在的に文化度の高い市民が多くいるため、地域人材や地域の資源に大きな可能性がある</p> <p>これらの資源について、市が行う事業での活用のほか、個人や団体等で行われている文化活動に対する市としての支援など、様々な連携について意識すること</p> <p>○各種の施設等で実施する事業を見直すにあたっては、来館者アンケートを実施し、活用するなど、利用者ニーズを把握した上で今後の展開について検討すること</p>	<p>(総合計画に関するアンケート)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化に関する活動に足を運び、参加・観賞・実践など「積極的にやっている」が 6.4%、「時々、やっている」が 39.5%となっている 両者を合わせると文化活動に参加している割合は 45.9%と高い <p>(教育振興に関するアンケート)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在、仕事や家事、学業のほかに、継続的に学んだり活動したりしていることで「文化・芸術活動に関するもの」 <p>(高齢者施策に関するアンケート)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の生きがいとして回答があった「学習や教養を高めるための活動」は 30.1%と高い 	<ul style="list-style-type: none"> 芦屋市の住民は、関西・関東地区とは異なり、地域的な特色はないが、やさしさやおだやかさを兼ね備えた心を持っている 	<p>市で充実していることや方針（強み）</p> <ul style="list-style-type: none"> 市の立地として阪神間に位置しており、近隣市への交通アクセスが良い 市内には、潜在的に文化度の高い市民が多い 文化に関する活動に足を運び、参加・観賞・実践など、文化活動に参加している割合は 45.9%と高い 現在の生きがいとして「学習や教養を高めるための活動」が 30.1%と高い 地域の教育力を高めるために必要だと思う取り組みで「伝統芸能や文化を子どもたちに伝えていく」は全体の選択肢と比べると低いもののニーズが見られる 芦屋市は、自然と住宅など街並みの調和がとれた、生活に便利なまちで、また、住民のモラルが高く、心ここちよい、京都や神戸とは違ったよいまち 川・山・海など自然豊かで空気がよい 子どもが多く教育熱心な芦屋市 芦屋市の住民は、関西・関東地区とは異なり、地域的な特色はないが、やさしさやおだやかさを兼ね備えた心を持っている 高級な洋菓子が目立つが、ワイン、コロッケ、また、雰囲気の良いくつろげる喫茶店が多いが埋もれている 	<p>不足や問題となっていること（弱み）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「地域の行事に参加させてほしい」という子どもの回答は低い 子どもの放課後の過ごす場所も「地域の活動に参加する」は低い 子育て支援施策に期待すること・重要なことは、「地域における子どもの居場所の充実」が 39.2%と最も高い 一方で、現在「子どもにスポーツ活動・文化活動の指導をしている」はごくわずかとなっている 障がい施策で期待・重要視することとして、「参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動を増やす」は 13.5%と低い 芦屋では打ち水のような、地元の慣習がない
情報発信	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 高級な洋菓子が目立つが、ワイン、コロッケ、また、雰囲気の良いくつろげる喫茶店が多いが埋もれている 	<p>市で充実していることや方針（強み）</p> <ul style="list-style-type: none"> 高級な洋菓子が目立つが、ワイン、コロッケ、また、雰囲気の良いくつろげる喫茶店が多いが埋もれている 	—